

2011年7月23日

於 梶山女学園大学星ヶ丘キャンパス「梶山人間交流会館」

日本文化人類学会中部地区研究懇談会主催・南山大学人類学研究所共催

中部人類学談話会連続フォーラム
「危機の人類学」第1回（第206回例会）

「災害における人類学の役割——東日本大震災の教訓」

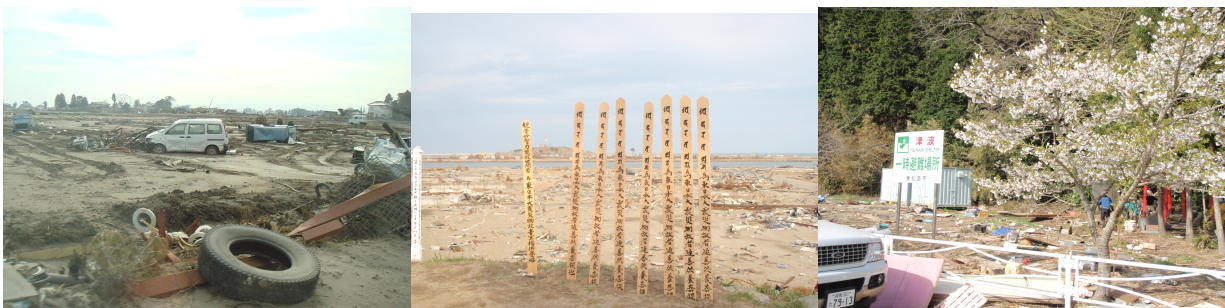
セッション1 「そのとき」現地からの報告 司会 後藤 明（南山大学）

- 13時30分 1 気仙沼から 川島秀一（リアス・アーク美術館副館長）
- 14時15分 2 金華山から 島田将喜（帝京科学大学）
- 15時00分 3 相馬から 岩崎真幸（みちのく民俗学研究所代表）

休憩 15分

セッション2 復興支援や人類学の役割：コメント&討論 司会：稲村哲也（県立大学）

- 16時00分 1 四川大地震への援助 王曉葵（県立大学）
- 16時20分 2 放射能によるコミュニティ破壊 中原聖乃（中京大学）
- 16時40分 3 東日本大震災ボランティアの体験から 後藤 明（南山大学）
- 17時00分 討論
- 18時00分 （終了予定）



問い合わせ先：南山大学人類学研究所・後藤 明（agoto@nanzan-u.ac.jp）